

私の就職活動（日本人視点）

動画リンク：https://youtu.be/f_2JHV1tiF0

今回は「私の就職活動（日本人視点）」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速くなり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立てください。

■自己紹介

私は高橋みなみといます。今年22歳で、神奈川県出身です。現在は東京の大学4年生です。今は、大学で経済学を学びながら、就職活動に取り組んでいます。

私は将来、「社会に貢献したい」と思っています。また、子どものころから人と話すことが好きで、その力を活かせる仕事がしたいと考えていました。さまざまな人と関わりながら、自分の考えや意見を伝えることができる営業の仕事に興味があります。営業は、お客さんと信頼関係を築きながら、会社の商品やサービスを広める大切な役割です。

日本の就職活動は、大学3年生の終わりごろから4年生の初めに始まる人が多いです。でも、もっと早くからインターンシップ（実際に会社で働く体験）に参加して、準備をしている学生もいます。早くから準備をしている学生と、そうでない学生の間には、大きな差ができることがあります。準備が遅いと、自分が入りたい会社の応募がもう終わっていることもあるため、早い段階での準備がとても大事です。

就職活動を始めるときは、正直少し緊張していました。なぜなら、日本の就職活動にはたくさんのステップがあり、一つひとつがとても重要だからです。エントリーシートの書き方や、面接の準備など、どれも初めての経験で戸惑いました。でも、「自分の夢に向かって頑張ろう」という気持ちで、一歩ずつ進むことにしました。

また、日本の就職活動では、「新卒」という特別な文化があります。新卒とは、大学や専門学校を卒業してすぐに会社に入る人たちのことです。企業は、新卒の人を積極的に採用し、長い目で見て育てることを大切にしています。これは、日本ならではの文化です。

今回は日本の就職活動についてご紹介します。

■日本の就職活動の流れ

日本の就職活動は、他の国と少し違った特徴があります。多くの学生は、大学の3年生や4年生のときに就職活動を始めます。まず、たくさんの会社を調べて、自分に合うところを探します。これを「企業研究」といいます。

日本の就職活動では、「一括採用」という方法がよく使われます。これは、会社がたくさんの学生を同じ時期にまとめて採用する仕組みです。多くの企業は、春に新しい社員を一度に入社させるので、学生は同じ時期にみんなで就職活動をすることになります。

就職活動の最初のステップは、エントリーシートという書類を書いて会社へ送ることです。エントリーシートには、自分のことや、会社で何をしたいかを書く場所があります。会社はその内容を見て、面接をするかどうかを決めます。

次のステップは、会社の人と会って話を「面接」です。面接は、学生が自分の考えや性格を伝える場です。会社の人たちは、学生が会社に合うかどうかを見ます。面接は何回か行われることが多いです。最初は簡単な質問が多いですが、だんだんとむずかしい質問も出てきます。面接で聞かれる質問は会社によって違いますが、私の経験からお話しすると、たとえば、私はある会社の面接で「自分の強みと弱みを教えてください」と聞かれました。

そのとき、私は自分の強みとして「人と話すことが好きで、相手の気持ちを理解しようとする力がある」と答えました。そして、その強みを使って、どのようにして会社のために頑張りたいかも話しました。弱みについては、「少しせっかち（物事を急いでしまうところ）がある」と正直に伝えました。でも、「せっかちさを注意しながら、仕事のスピードを上げるように頑張りたい」と、弱みをどう改善するかを合わせて説明しました。このように、自分の弱みをどうやって直すかを考えていることを伝えるのが大事です。

面接では自分のことを知ってもらうための質問が多く出ます。そして、質問に答えるときは、正直に、でもポジティブな気持ちを持って話すことが大切です。面接官は、学生の考え方や、人柄を見ていますので、自分のことをしっかり伝えることが大切です。最後に、会社から「内定」という連絡がきます。内定とは、会社が「あなたを採用します」と言ってくれることです。

■自分に合う企業の見つけ方

日本の就職活動では、企業研究がとても大切です。企業研究とは、会社について詳しく調べて、自分に合うかどうかを考えることです。私も就職活動を始めたとき、たくさんの会社を調べました。ここでは、私の経験をもとに、企業研究のポイントをお話しします。まず、自分がどんな仕事をしたいかを考えました。私は「人と話すことが好きだから、営業の仕事がしたい」という目標を決めました。そして、その仕事ができる会社を探しました。このように、自分の興味や得意なことを考えると、会社選びがしやすくなります。

次に、会社のホームページを見て、その会社が何をしているかを調べました。会社の製品やサービス、企業理念を知ることは、とても重要です。また、会社のニュースや業界の情報もチェックしました。これを知っておくと、面接のときに「この会社についてよく知っている」とアピールできます。

さらに、私は会社の社員や働き方についても調べました。インターネットで会社の口コミサイトを見たり、先輩たちに話を聞いたりしました。社員がどんな雰囲気や働いているか、会社の文化が自分に合うかどうかを知ることが大切です。実際に働いている人の意見を聞くことで、その会社が自分に合うかをより深く理解することができます。

企業研究をしっかりとすることで、自分に合った会社を見つけることができます。そして、面接でも自信を持って話すことができるようになります。企業研究は大変ですが、じっくり時間をかけて取り組む必要があります。

■アピールポイントを強調する

日本では、大手企業や有名な会社、給料がよくて働きやすい会社に、たくさんの学生が応募します。これらの会社は、新しい社員を採用する数が少ないため、多くの学生が応募しても、選ばれるのはほんの一部です。人気のある会社に内定をもらうためには、学歴よりも、自分の強みや特別な経験をアピールすることが大切です。

エントリーシートは、日本の就職活動でとても大切なステップです。エントリーシートとは、自分の情報や考えを書いて、会社に送る書類のことです。この書類を見て、会社は「この人を面接に呼ぶかどうか」を決めます。ですから、エントリーシートを書くときには、しっかりと自分をアピールすることが大事です。

私がエントリーシートを書くときに気をつけたことは、「自分の強みをわかりやすく書く」ことでした。たとえば、私は「人と話すことが好きで、相手の気持ちを考えながら行動できる」と書きました。そして、その強みを使って、どのようにして会社の仕事に役立てるかも書きました。強みをただ書くだけではなく、「その強みがどう仕事に活かせるか」を説明することが大切です。

また「なぜこの会社を選んだのか」という理由も詳しく書きました。「会社の理念や社会への貢献の考え方に共感した」ことを伝えました。このように、会社のことをよく調べたうえで、自分の気持ちを素直に書くことがポイントです。

エントリーシートを書くときにもう一つ大切なのは、「簡潔で読みやすい文章を書く」ことです。長い文章は読むのが大変なので、短い文でわかりやすく伝えることを意識しました。一つの文はできるだけ短くし、具体的なエピソードを交えることで、自分の考えをわかりやすくしました。

最後に、エントリーシートを書いたあとに必ず確認しました。間違いがないか、文章がわかりやすいかを何度も見直しました。そして、家族や友だちに読んでもらい、意見を聞きました。第三者の視点でチェックしてもらえると、自分では気づけなかった改善点を見つけることができます。

エントリーシートは、自分を会社にアピールするための大切な第一歩です。焦らずに、一つずつポイントをおさえながら、じっくりと書いてみてください。

■面接の攻略法

面接は、日本の就職活動の中でとても重要なステップです。面接では、会社の人があなただの性格や考え方を直接見ます。だからこそ、日本の面接には特別なマナーやルールがあります。私が面接を受けたときに気をつけたことを、いくつかお話しします。

まず、面接に行くときの服装です。日本では、スーツを着て行くことが一般的です。男性なら、黒や紺のスーツに白いシャツ、女性ならシンプルなデザインのスーツがよいとされています。

髪型も清潔感があり、整っていることが大事です。第一印象はとても大切なので、見た目にも気をつけましょう。

つぎ めんせつちゅう ことば づか にほん めんせつ けいご つか もと
次に、面接中の言葉遣いについてです。日本の面接では、敬語を使うことが求められます。
「ありがとうございます」や「よろしく願いたします」といった丁寧な言葉を使うこ
とが大事です。言葉遣いが正しいと、面接官に好印象を与えることができます。

じっさい めんせつ き しつもん じこ しょうかい
実際の面接でよく聞かれる質問に、「自己紹介をしてください」があります。このとき、
なまえ かんたん けいれき しぶん つよ あじか はな ひと
名前や簡単な経歴、そして自分の強みを短くまとめて話すのがポイントです。私は、「人
と話すことが好きで、相手の気持ちを考えながら行動できることが私の強みです」と答え
ました。そして、その強みが会社の仕事にどう役立つかも説明しました。

また、かいしゃ えら りゆう き しつもん わたし かいしゃ りねん きょうかん じぶ
「会社を選んだ理由」もよく聞かれる質問です。私は、「会社の理念に共感し、自
分もその目標に向かって一緒に成長したいと思ったからです」と答えました。このように、
かいしゃ のことをよく調べて、自分の考えとつなげて話すことが大切です。

面接では、答えるのが難しい質問をされることもあります。そのようなときは、あわてず
に冷静に対応することが大切です。

すぐに答えが思いつかない質問があった場合、少しだけ時間をもらって考えてみましょう。
「少しお時間をいただいてもよろしいでしょうか？」と言って、頭の中を整理する時間を
つくるといいです。

面接で難しい質問に直面しても、焦らずに自分の考えをしっかりと伝えることが大切です。
答えに困ったときは、正直であることと、自分をどう成長させたいかを示すことを心がけ
ましょう。

さいご めんせつ お じゅうよう た あ
最後に、面接が終わったときのあいさつも重要です。立ち上がる時はゆっくりと、そし
て最後に「本日はありがとうございました」と深くお辞儀をします。面接では、自分をし
っかりとアピールすることが大事ですが、日本的なマナーを守ることも同じくらい重要で
す。これらのポイントを押さえて、面接に自信を持って臨んでください。

■モチベーションを保つ秘訣

しょうしゅうかつどうちゅう ごんなん だれ わたし なんと なや お こ
就職活動中に困難を感じることは、誰にでもあることです。私も何度も悩んだり、落ち込
んだりした経験があります。そんなときにどうやってモチベーションを保つかが、とても
大切です。

ここでは、私が実際に経験した困難と、そのときに取った対策をお話しします。

わたし しょうしゅうかつどうちゅう なんと しょういせんこう お かいしゃ
まず、私は就職活動中に何度も書類選考で落ちたことがあります。たくさんの会社にエン
トリーシートを出しましたが、その多くが不合格でした。正直、そのときは「自分はもう
だめかもしれない」と感じて、やる気をなくしかけました。

そんなときに役立つのは、目標を小さく分けることでした。たとえば、「今日はエント
リーシートを1枚だけ集中して書く」「次の面接の準備を1時間だけやる」など、無理を
せず少しずつ進めるようにしました。このように小さな目標を立てると、達成感が生まれ
て、少しずつ前に進んでいる実感を持つことができます。

わたし とも かぞく じぶん きも はな ひとり なや
また、私は友だちや家族に自分の気持ちを話すようにしました。一人で悩んでいると、ど
うしてもマイナスな気持ちになりがちです。

でも、信頼できる人に話すと、気持ちが少し軽くなります。友だちは「自分も同じように大変だけど、頑張っているよ」と言ってくれて、すごく心が楽になりました。お互いに励まし合うことで、モチベーションを保つことができました。

さらに、自分がどんな仕事をしたいかをもう一度考えることも、大事なステップでした。就職活動がうまくいかないときは、自分が本当にやりたいことを見失いがちです。でも、なぜその仕事をしたいのか、どんな人になりたいのかを考え直すと、自然とやる気が戻ってきました。私は「人と関わる仕事がしたい」「自分の力で会社に貢献したい」と再確認して、もう一度前向きな気持ちで取り組むことができました。

就職活動中の困難は避けられませんが、自分なりの方法で少しずつ乗り越えることができます。自分のペースで進んで、時には周りの人たちの力を借りながら、あきらめずに努力を続けることが大切です。

■内定獲得の瞬間

就職活動の最後のステップは、会社からの「内定」をもらうことです。内定とは、「あなたを社員として採用します」という会社からの正式な約束です。私が初めて内定をもらったときのことをお話します。

私が内定をもらったのは、面接が終わった数日後でした。その日は、いつも通り過ごしていましたが、会社から電話がかかってきたとき、胸がドキドキしました。電話の向こうで、「おめでとうございます！内定が決まりました」と言われ、喜びと安心感で胸がいっぱいになりました。これまでの努力が報われたと感じて、思わず「本当にありがとうございます」と何度も言いました。

内定をもらったときの気持ちは、うれしいだけではなく、少し不安もありました。「これから本当に会社で働けるのか」「期待に応えられるだろうか」といった考えが頭をよぎりました。でも、その不安を感じながらも、「自分ならきっとやれる」と前向きな気持ちを持つことにしました。

内定をもらったあと、私は家族にすぐに報告しました。家族もとても喜んでくれて、「がんばったね、おめでとう」と言ってくれました。家族と一緒に喜びを分かち合えたことが、私にとって本当に大きな支えになりました。この瞬間、自分だけでなく、周りの人たちのおかげでここまで来られたんだと強く感じました。

その後は、新しい生活に向けて少しずつ準備を始めました。会社についてもっと詳しく調べたり、社会人として必要なスキルを学んだりしました。これから始まる新しいチャレンジに向けて、自分をもっと成長させたいという気持ちが強まりました。内定をもらうまでの道のりは決して簡単ではありませんが、その瞬間の喜びは何ものにもかえがたいです。

■新しい環境での目標

日本の就職活動はとても競争が激しく、簡単ではありません。たくさんの努力と時間をかけなければならない場面も多いです。それでも、その過程で、必ず自分自身を成長させることができます。私も就職活動を通じて、たくさんの困難にぶつかりましたが、それを乗り越えることで、自分にとっての大切な経験を積むことができました。

これから社会人として新しい環境に飛び込む中で、私の目標はさらに成長し続けることです。自分の強みをもっと磨いて、会社の中で信頼される存在になりたいと思っています。

また、たくさんの人と関わりながら、大きな成果を出せるような仕事をしていきたいと考えています。

そして、もう一つの目標は、自分が会社で得た経験や知識を使って、社会に貢献することです。どんな小さなことでも、人の役に立てる仕事をしていきたいと思っています。

新しい環境でたくさんのことを学びながら、失敗を恐れずに、いつでも前向きな気持ちを持って、次の一歩を踏み出し続けることが私の大きな目標です。どんな困難があっても、その先には必ず成長があると信じて、挑戦を続けていきたいと思っています。私の経験を通じて、皆さんも自分の夢に向かって進んでいけるよう、少しでも力になればうれしいです。

「私の就職活動（日本人視点）」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

